

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 水産振興対策事業補助金
-------------------	--------------------------

区分	番号	名 称						
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち						
節	2	自然を活かした産業の育成						
施策	1	特色ある農業・漁業の推進						
小分類	5	時代に即した漁業生産の基盤づくり						
主要な施策	3	漁港の整備促進						
事務事業番号	004	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f8d7da;">事務事業コード</td> <td>32153004</td> <td style="background-color: #f8d7da;">事業開始年度</td> <td>平成 2 2 年度</td> <td style="background-color: #f8d7da;">事業終了年度</td> <td>平成 2 2 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	32153004	事業開始年度	平成 2 2 年度	事業終了年度	平成 2 2 年度
事務事業コード	32153004	事業開始年度	平成 2 2 年度	事業終了年度	平成 2 2 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	水産振興対策事業補助金
------	------	------------	-------------

部 名	観光経済部	グループ名	農林水産 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #fff3cd;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 水産業の振興を図る。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #fff3cd;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> いぶり中央漁業協同組合が行う事務所建設に対し、漁協の負担軽減策として、水道管本管から建物までの給水管敷設工事費に対して補助を行った。
成果	<p style="background-color: #fff3cd;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> いぶり中央漁業協同組合本所と登別支所を統合し、新たに登別漁港内に事務所を建設することにより、いぶり中央漁業協同組合の経営基盤を強化するとともに、新事務所と荷捌所との連動した業務の効率化や新港区の整備との連携、漁業者との緊密な連携、漁港内パトロール等の効率化などが図られ、水産業の振興につながっている。
根拠法令等	<p style="background-color: #fff3cd;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> 登別市水産業振興対策事業補助規則

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	いぶり中央漁業協同組合の事務所数	箇所	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	/	/	/	/
	新事務所と荷捌所の距離	m	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	20	/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	1,418					0
合 計			1,418	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	66	0			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		66	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 水産業の振興を図る観点から、漁協の経営基盤を強化することは必要である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 新事務所と荷捌所との連動した業務の効率化が図られている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 新事務所を登別漁港内に建設したことに伴い、様々な業務の効率化が図られており、これ以上向上させることはできない。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 必要最小限（経費の一部）の補助となっている。

担当グループによる評価

終了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成22年度単年度事業のため。
----	----------------------	-----------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）